

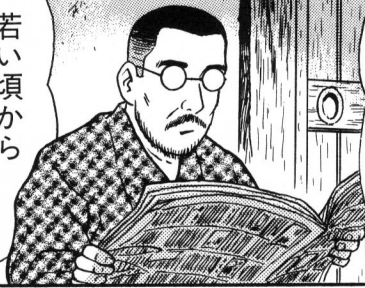
とみぞう
富三の父 喜一郎は
造り酒屋の
三代目です

自分の造る酒を
こだいしゅう
五大州と
命名していました



そんな名を
付けるだけあって
天下国家のことを
考えるのが好きで

若い頃から
村でただ一人
徳富蘇峰の
とくとみそほう
「国民新聞」を
東京から
取り寄せて
読んでいました



世が世であれば
もし
勝手が出来れば……
外に出て

大きな
仕事を
したかった
なあ……

とは
本人の言葉ですが

結局、自分一人の
感情の問題と

こら
堪えた
らしいのです

